

あなたの願いを市政につなぐ **日本共産党** 伊勢崎市議団



長谷田公子
070-5564-6271
八幡町 44

議会報告

2022年
秋号



北島元雄
090-4065-2120
波志江町 3626

発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 Tel.25-4854/fax24-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

新型コロナウイルス感染症の危機と物価高騰等から 市民の命とくらし、営業を守る市政に**予算要望**



◎市長（右向う）・副市長（右手前）などと
懇談する北島元雄・長谷田公子両市議

日本共産党市議団は10月4日、臂市長・三好教育長に来年度の予算要望書を提出しました。

市議団からは、「●高校生世代までの医療費無料化。●学校給食費の完全無料化。●デマンドタクシーの実現、タクシー券充実。●滞納者の実情を無視した強権的滞納整理を行わない。●コロナ対応は県と連携し検査や生活支援の充実を。」などの重点要望を、具体的に説明しました。

**食糧品6500品目値上げ
物価高騰対策の緊急要望**

市議団は、国が年度内に自治体に交付する物価高騰対策のための臨時交付金や基金を活用し、「●住民税非課税世帯だけでなく住民税均等割課税世帯等にも5万円の緊急支援給付金の給付。●冬に向け福祉灯油等の光熱費支援。●フードバンクや子ども食堂への支援。」など、当面の課題を盛り込んだ緊急要望書も提出しました。

市長は「市民に不公平感が出ない施策を検討したい」と答えました。

高校生世代迄の医療費無料化前進「承知している」

高校生世代までの医療費無料化は、この間玉村町や桐生市も来年度実施を明言。伊勢崎市は取り残された形です。

臂市長からは、「県内で実施自治体が増加していることは承知しており、具体的な検討を進めたい」「交通対策も具体的に検討している」「市税滞納者には、生活再建を柱に丁寧に対応するようになりたい」など要望に対する考えが述べられ、予算編成の参考になると回答がありました。

放課後児童クラブ2人目以降の負担軽減を！

子ども1人に635万円
共働きやひとり親世帯には、放課後児童クラブは心強い味方です。長い間、新しい施設が次々開所しても待機児童が出る状態が続きました。

しかし、最近はずっと厚い補助金のもと民間事業者の参入が続いています。ある社団法人が開設した5施設合計の利用児童数は、20年度14人、21年度32人だけでした。この内、20年度に児童1人のある施設に支払われた委託料・補助金は、635万円でした。

障害児受け入れや午後8時までの開設と、大変貴重な施設ではありませんが、利用児童数が35人いても577万円とい

う他施設と比べると余りにも差があり、施設利用児童数の平均化を図るなど委託している市側の対応が必要と考えます。

また施設や定員が足りない学区もあります。児童クラブは施設増設から内容の充実を図る段階に来ています。

大勢の児童を預かっている施設にもきめ細かな支援を強める必要があります。

また、高崎・桐生・太田市の様に兄弟入所の場合は2人目以降の保育料補助など保護者負担の軽減も求められています。

物価高騰で中小業者支援10万円

燃料や材料が高騰し、価格転嫁できない中小業者は、コロナ禍に加え物価高騰で厳しい状況です。中小業者の団体が、市の産業経済部などに支援を求め要請・懇談しました。

共産党市議団が紹介議員で同席しました。

売り上げが、粗利が20%以上落ち込んだ事業者は10万円の給付金が実現しました。

製造業や建設業、運輸、生活関連サービス業などが対象です。

申請は11・12月。詳しくは商工労働課又は共産党市議まで。



実情を訴える民主商工会会長

議会エピソード 27 新型コロナウイルス感染症

「いつ罹ってもおかしくない」と思っていた新型コロナに、コロナにかかってしまいました。明け方から喉の痛みと発熱があり、急ぎかかりつけ病院の発熱外来を受診。抗原検査で陽性に。高熱、高血圧の服薬ありということで国が無料で医療機関に配布しているという飲み薬を貰い、療養生活に入りました。

保健所から「マスクを外し15分以上人と話す」「家族以外とマスクを外して食事」「県外への外出」があったか聞かれましたが、どれも心当たり無しです。

自分になってみて分かったこと。最初に問い合わせた伊勢崎のPCR検査センターは外注で、結果が出るまでとても時間が掛かる。保健所からの電話は心強いし夜中でも相談に乗ってくれ有難かったが、パルスオキシメーターが届いたのは発症4日目で急変する人にはとても間に合いそうにない。保健所は「国は7日間療養で良いというが、10日目までは感染させるリスクあり」と大変正直なアドバイス。もろもろの体験を生かし、検査や治療体制の充実を求めています。

(K・H)

無料生活法律相談会
毎月第4月曜日 午後6時より
弁護士・市議が相談に応じます
要予約お申し込みは共産党市議員まで